



勝池レポート アジア資産運用アドバイザー 勝池和夫

「インド株投信は新NISAのMVP」



インドは新興国に分類されています。中でも人口で中国を抜き、世界最大の内需が期待される新興国です。一方でインドは、人工知能、宇宙開発などの先端分野では米国と並ぶ先進国の顔も持っています。

つまり、インドは新興国と先進国の二つの強力な成長エンジンを備えた「先進新興国」だと言えます。譬えれば、メジャーで活躍している大谷翔平選手のようなパワフルな二刀流経済の国です。

いよいよ来月から始まる新NISAの「成長投資枠」を利用して、そのインドの株式投信に長期投資をすれば、日本の投資家には大きな夢が広がります。

インド株の投信は、よく金融機関が提唱する「コア・サテライト戦略」の中のサテライト資産ではありません。誰も大谷選手のような金融資産を、サテライト並みのリリーフや下位打線の資産とは思いませんよね。それどころか、私たちの金融資産チームの「エースで四番」の様な存在です。

新NISAの「成長投資枠」の年間投資上限額は、今までの一般NISAの倍の年間240万円です。更に非課税期間は5年から無期限になります。ということは、投資枠上限でのインド株投信への投資は、あなたのチームに歳を取らない大谷翔平選手が二人入るようなものです。とても頼もしいですね。

先進国の成長率はこれからますます低下傾向になると予想されます。G7は1960年代の5～6%がピークで、これからはどれほどAIを取り入れても、せいぜい1～2%しか期待できません。寂しい話ですが、来る私たちの「人生100年時代」は先進国の「低経済成長の時代」なのです。

そんな時代に始まる新NISAのインド株投信は、メジャーリーグの「MVP」のように私たちの期待に応じてくれると信じています。

2024年もどうぞよろしくお願ひいたします。



Most Valuable Product

お知らせ

好評発売中。インド株投資の前には一読ください。

